



床の中の空



青春の フォトスケッチ

高校写真部の生徒が
とらえた心に残る1枚



宇都宮文星女子高校
川中子 歩実さん

作者のコメント
教室の掃除をしている時、
床にまかれた水に目を向け
ると、そこには、窓越しの
空が映し出されていました。

今、輝いてる市民

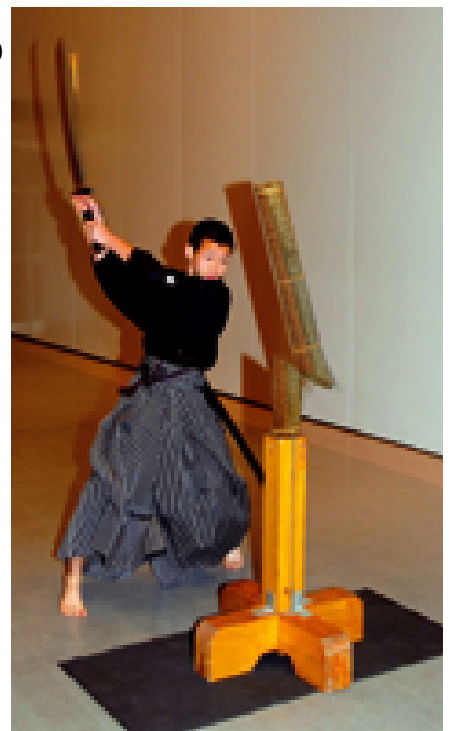
はっらつ・宮っ子

奥が深い抜刀道 中学生で全国大会優勝

泉が丘中学校 木村 智行さん



10月に茨城県で行われた日本抜刀道連盟全国大会の「制定刀法」の個人戦で、木村智行さんが優勝という成績を収めました。切ることそのものに加え、型の良さが重視されるもので、10通りある制定刀法から、当日指定されたものを行います。「1回戦はとても緊張した」そうですが、逆にその後は落ち着いて臨むことができ、ほとんどが年長者という大会で、堂々と1位に輝いたのです。



木村さんが抜刀道を開始したのは、4年前。ろまんちつく村で行われた真剣による演武を見たことがきっかけでした。当時、小学5年生だった木村さんは、「刀を使うところ」に大きな魅力を感じたといいます。現在は、市内の稽古場や市外の道場で、週5回、型を行ったり、実際にわらを切ったりと、練習に励んでいます。特に難しいのは型で、「やればやるほど難しく、奥が深い」そうです。

今後も抜刀道をずっと続け、ゆくゆくは指導者になりたいと語る木村さん。まだ、中学生でありながら、大人顔負けに刀を振るい、長く奥深い道を着々と歩んでいます。